

ウィズ ~ともに~

# WITH



発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区长嶺南 1-5-4 の  
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>



2025年4月1日

おれんじ村の40年目がスタートした日に、  
2人の新しいなかまがおれんじ村に入社しました。

入社式には、KAB、KKT、NHKと3社の取材があり新入社員だけでなく、受け入れる村民もみんな緊張しながらの入社式となりました。（\*入社した2人の紹介は、次頁で。）

入社式の中では、  
森村豊明会様よりアイスクリーム  
ブレンダーとショーケースの助成  
をいただいたのでお披露目会も  
一緒に行いました。



森村豊明会様には、水保の無農薬の柑橘類を使ったアイスクリームを製造し、医療的ケアを必要とする重度障害者を新たに雇用し SNS で広報をするという取り組みに、賛同いただき助成をいただきました。

たまご、牛乳、そしてすべて手作り手間暇かけ、  
こだわりがふんだんに詰まったおれんじかふえのアイスクリームに、水保病患者さんが丹精込めてつくる無農薬の柑橘類の奇跡のコラボを可能としたアイスクリームブレンダー。  
おれんじかふえでしか味わえない  
プレミアムなアイスクリームが間もなく完成します!!  
\*5/9（金）アイスクリームの日に販売スタート

めでたい記事の中で書くものか悩んだけど。  
入社式のこと、ちょっともやっとなることがありました。  
おれんじ村での入社式の様子をテレビ放送していただきました。

まず県内の企業の入社式の様子が放送され  
いよいよ、おれんじ村の入社式の様子が放送されました。  
が…。

『入社式』ではなく『入所式』と紹介されました。  
なんか違和感。放送後にネット版の記事で『入所式』と活字になっているのを見て、もやもやが止まらず、『入所式』の意味を辞典で調べると、  
「所と名のつくところに入ること。」ってありました。  
おれんじ村は所はつかないんだけど…。  
福祉となると『入所式』になるのか…。

葉奈さん（次頁、紹介）は、医療的ケアを必要とする重度障害者ですが、職員として雇用契約を結びました。  
やっぱり、入所より入社だと思うんだけどなあ。。。  
取材してくれた記者さんに問わせると、『B型の事業所の取材では「所」を使わせてもらっている。』『社と書くとニュースをご覧になった方から問合せがくるかと思いません。』との返答でした。  
何が正しいのかわからない。けど、それでも、  
おれんじ村ではこれからも『入社式』であり続けます。

# ようこそおれんじ村へ

## ～ここから未来が始まる～



SNS 担当  
山本 梨奈さん



4月1日より、おれんじ村でお世話になることになりました山本梨奈と申します。

大学での実習の際から関わらせていただいており、そのときからおれんじ村の皆さんはとても明るく、あたたかく接して下さる方ばかりだなと感じていました。そんな素敵な皆さんと一緒に働けることを、今とても嬉しく思っています。



進路を考える中で、一般的な就職活動とは少し違う形（おれんじ村村民、全員での集団面接）ではありましたが、自分のこれからや、どう生きていきたいかを深く考える時間になりました。悩むことも

多く、自分自身の未熟さや、未来と向き合う難しさを痛感した時期でもありましたが、それがあったからこそ今ここに立てているのだと思っています。

少しだけ、これまでの経緯をご紹介させていただきます。

1997年生まれで、兵庫県出身です。5歳のころから熊本で暮らしております。高校卒業後は自衛官として働いていましたが、体調を壊し退職することになりました。その後は新たな道を模索しながら、制度や周囲の方々の支えを受けて、今回こうしてまたお仕事をさせていただけることになりました。本当にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は SNS などを通じて、おれんじ村の魅力や雰囲気、たくさんの方に知っていただけるような発信もしていけたらと思っています。

まだまだわからないことばかりですが、少しずつできることを増やして、皆さんの力になれるよう努力してまいります。どうぞこれからよろしくお願いいたします。

### ～梨奈さんはこういう方です～

梨奈さんと出会ったのは、彼女が大学1年生の頃でした。

育った環境、病気の発症、障害、九州豪雨での球磨川氾濫による被災などなど、多くの困難にも負けず、自分の夢に向かって笑顔で懸命にがんばる人。そして、その笑顔がとてもステキな人というイメージでした。

本格的にかかわるようになったのは、梨奈さんが大学2年生の頃、施設を出て地域での自立生活を始めた頃でした。全国的にもなかなか認められない24時間の重度訪問介護の支給を勝ち取り、重度訪問介護利用者大学修学支援事業を利用して大学に通うなど、多くのメディアにも取り上げられ、熊本で有名人でした。笑笑笑

無事に大学を卒業し、この4月からおれんじ村で、『熊本市の地域生活支援事業の重度障がい者等就労支援事業』と『高齢・障害・求職者雇用支援機構



の重度訪問介護サービス利用者等職場介助助成金』を利用し、業務上の支援と仕事上の介護をヘルパーさんの支援を受けながら働くことになりました。梨奈さんだけでなく、おれんじ村にとっても初めてのチャレンジです。

実際に出会ってからの梨奈さんの人となりを紹介いたします。テレビに出たときはよく笑ってるけど、本当はよく怒るし、よく泣くし、我慢してよく体調崩すし、なによりもよく寝る人です。

なんかそんなにすごい人、特別な人ではなく、ごく普通の20代の女性です。

ただちょっと頑固で、夢を持っています。なによりも彼女の周りには、ヘルパーさんをはじめ多くの応援してくれる人がついてるので、梨奈さんはいろんなチャレンジができるのだと思います。



おれんじかふえ担当  
中村 百花さん



中村百花です。

好きな事は、タブレットで音楽を聴いたり、YouTubeを見ること、ご飯を食べる事です。好きな食べ物はチョコレートです。



お母さんの車で通勤します。通勤の時には毎回、星型のサングラスをかけています。最近、車が新しくなって後ろの席の窓に日よけが出来たのでサングラスをかけることが減ってきています。

おれんじ村では、おれんじかふえで働きます。あいさつができるようになりたいので、接客をがんばります。先輩たちとも仲良くしていきたいです。仕事を頑張って、好きなゲームや推しのグッズを買いたいです。よろしくおねがいします。



### ～百花さんはこういう方です～

出会いは4年前。百花さん中学3年生の頃。ある時、百花さんの担任の先生から問い合わせがありました。「百花さんに実習をさせてあげたい!!」先生の熱い思いを聞き、そんなの聞いたら一肌脱ぐしかない!!

それから先生との打ち合わせを重ね、百花さんとも顔合わせをし。あっという間に体験当日。2日間という日程でかふえでの接客体験。2日目の夕方には中学校へ販売にも行きました。初めての实習で初めての場所。緊張もあり帰る頃にはとてつもなく疲れていました。そんな出会いの出来事が昨日のようです。

高校生になってもおれんじ村へ実習に来てくれました。実習初日。やる気満々で、張り切りすぎて!!!! 熱が出ちゃって…実習延期になったこともありました。

高校3年生。おれんじ村のかふえで働きたい!という意志があり、卒業後の進路についての会議をしたいと連絡が。

会議当日。卒業後どんな仕事をしたいの?という質問に対して…

「絵を描く仕事がしたい」  
「……え?」参加者みんなが大仰天。

みんなで顔を見合わせて苦笑いをして終了。それからまた学校で将来について考えてみた結果、おれんじかふえで働きたい!になったそうです。

もうお分かりだと思いますが、百花さんはみんなの度肝を抜くのが大得意!! 将来はカッコいいモデルさんみたいに仕事を頑張りたいとの事。仕事の先輩、人生の先輩の背中を見ながら自分の目指す未来に向けて頑張ってもらいたい。



